

2026年度 慶應義塾大学 一般選抜
経済学部 数学 解答例・出題意図

[1] 前半では多項式および積分の基本的な計算能力を問ひ、後半では平面における点や図形の位置関係を正しく把握する能力を問う。

- (1) (1) 3 (2) 5 (3) 8 (4) 0 (5) 5 (6) 1 (7) 3
(2) (8) 0 (9) 1 (10) 4 (11) 4 (12) 1 (13) 7 (14) 2 (15) 3 (16) 7 (17) 2

[2] 漸化式で表された数列の一般項や数列の和を求める能力を問う。

- (1) (18) 1 (19) 5 (20) 2 (21) 0
(2) (22) 8 (23) 1 (24) 1 (25) 6 (26) 1
(3) (27) 8 (28) 1
(4) (29) 3 (30) 1 (31) 2 (32) 8 (33) 1
(5) (34) 3 (35) 9 (36) 1 (37) 0 (38) 8 (39) 1 (40) 1 (41) 1 (42) 0

[3] 与えられた条件を満たす場合の数を把握し、確率や期待値を求める能力を問う。

- (1) (43) 4 (44) 9 (45) 7 (46) 2 (47) 7
(2) (48) 7
(3) (49) 2 (50) 9 (51) 2 (52) 3
(4) (53) 2 (54) 0 (55) 9 (56) 3 (57) 4 (58) 6 (59) 0 (60) 3

[4] 対数関数を用いて記述された等式の変形、および決められた条件の下での関数のふるまいを把握する能力を問う。

[5] 空間における図形の内分点や角の大きさをベクトル等を用いて把握し、空間内の直線と平面の交点や多面体の体積を求める能力を問う。

[6] 3次関数のグラフと座標軸の交点の情報からこの関数を求め、そのグラフと接線で囲まれた図形の面積等を求める能力を問う。

以上